

令和 7年度予算見積調書

課室名：保健體育課

担当名：健康教育・学校安全担当

内線：6964

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
P55	児童生徒のための安心・安全事業			一般会計	教育費	保健体育費	学校保健連絡調整費	登下校安全対策推進費	
事業期間	令和2年度～	根拠法令	地方教育行政の組織及び運営に関する法律第23条第1項第9号 学校保健安全法第26条	針路分野施策		05 0504	未来を創る子供たちの育成 質の高い学校教育の推進	SDGsゴール SDGsターゲット	3, 16 3-6, 16-1, 16-2
1 事業概要 「児童生徒のための安心・安全プロジェクト」を実施して、児童生徒が自ら安全に行動し、他の人や社会の安全に貢献できる資質や能力を育成するとともに、児童生徒の安全を確保するための環境を整える。 ア 地域ぐるみの学校安全体制整備推進 P J 637千円 イ 高校生自動二輪車等交通事故防止対策 P J 1,440千円				5 事業説明 (1) 事業内容 ア 安心・安全を守るための、地域ぐるみの学校安全体制整備推進プロジェクト 637千円 スクールガード・リーダーによる学校の巡回の指導と評価等の実施(4月～3月) イ 「いのち」を守る、高校生自動二輪車等交通事故防止対策プロジェクト 1,440千円 自動二輪車等の免許を取得し運転を希望する生徒及びこれから免許を取得しようとする生徒を対象に講習を実施 (2) 事業計画 ア スクールガード・リーダーの委嘱、委嘱状と身分証明書交付、防犯用品の支給、マニュアルの配布 イ 「高校生の自動二輪車等の交通安全講習」及び加害交通事故防止に向けた取組の実施 (3) 事業効果 ア 地域ぐるみで子供の安全を見守る体制を整備し、地域社会と連携した学校安全に関する取組を通じて、地域力の強化を図る。 【活動指標(アウトプット)】 県内全公立小学校にスクールガード・リーダーを1校あたり1人配置する 【成果指標(アウトカム)】 「子供に対する声掛け事案」の発生件数が減少する。 令和5年度1,555件 → 令和9年度1,250件 イ 生徒が在学中のみならず生涯にわたり交通事故の当事者とならないよう、交通安全指導の充実を図っていく。 【活動指標(アウトプット)】 高校生の自動二輪車等の交通安全講習を県内の7箇所の自動車教習所で8回開催 【成果指標(アウトカム)】 高校生の自動二輪車等の交通事故が減少する。 令和5年度24件 → 令和9年度5件					
2 事業主体及び負担区分 ア (国1/3・県2/3) イ (県10/10)									
3 地方財政措置の状況 なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×0.6人=5,700千円									
予算額		財 源 内 訳						一般財源	前年との 対比
		国庫支出金							
決定額	2,077	212						1,865	49
前年額	2,028	196						1,832	

事業内訳書

事業名	児童生徒のための安心・安全事業		
単位事業名	安心・安全を守るための、地域ぐるみの学校安全整備推進プロジェクト	予算額	637千円

○歳入

(単位：千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
国庫支出金・ 保健体育費補助金	212	16	学校・家庭・地域連携協力推進事業費補助金 補助率 1/3
一般財源	425	33	
合計	637	49	

○歳出

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
需用費	586	△2	スクールガード・リーダー用防犯用品 スクールガード・リーダー委嘱状・身分証明書印刷
役務費	51	51	スクールガード・リーダー用委嘱状等郵送費
合計	637	49	

単位事業名	「いのち」を守る、高校生自動二輪車等交通事故防止対策プロジェクト	予算額	1,440千円
-------	----------------------------------	-----	---------

○歳入

(単位：千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	1,440	0	
合計	1,440	0	

○歳出

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
報償費	640	0	実技講習講師謝金 10人分
使用料及び賃借料	800	0	実技講習会会場使用料 8回分
合計	1,440	0	